

令和2年度行政評価 外部評価委員による意見

■施策5 生涯学習

No.	施策・事務事業	意見の種類		外部評価委員質問・意見	回答
1	事務事業評価シートについて (150117図書館管理事業、 150211公民館文化振興事業 ほか	①シートの記述 について		事務事業評価の改革改善の実施状況欄について、「図書館管理事業」では図書館の相互利用について書いているが、相互利用の実績にも触れたほうがいいのではないかと。また、「公民館文化振興事業」では「高校の美術部等」とあるが、「等」の中身まで詳しく書いてもらいたい。この欄は大事なところなので、限られたスペースではあるが具体的に書いた方がいいと思う。	詳細を確認して追記する。
2	150115昆虫の森運営事業	①シートの記述 について		「昆虫の森運営事業」の達成度の判定理由欄で、開館していれば前年度を超えていた「はずである」となっているが、もっと違った書き方がいいのではないかと。	開館日数と利用者数を比べて、一日あたりの利用者数が伸びているとするといいのかもしれない。検討する。
3	施策評価シート (取組③)	①シートの記述 について		施策評価シートの「取組の状況と今後の方向性」の③で「施設の集約化も考慮」とあるのは、生涯学習センターの建設を踏まえた文言なのか。そうであれば、そこまで触れてもいいと思う。	集約した新しい生涯学習施設のことなので、「これまでの取組と実績」の欄にわかりやすく記述する。
4	施策評価シートについて	①シートの記述 について		各事業で講座やイベントをやっているが、具体的にどういった講座やイベントがあるかは事務事業評価シートまで見ないとわからないので、改善すべき事項だと思う。	
5	150120一般経費黒川地区公民館	①シートの記述 について		「一般経費黒川地区公民館」で、事業の実施内容にイベントなどが書いてあるが、「事業の方向性」にはイベントに関する記述がない。生涯学習の事業としては、イベントについて今後どうするかが必要では。	
6	150110 文化活動促進事業	②提言	事前 提出	公民館まるごとクリスマスに関しては、内容がマンネリ化しているように感じられ、クリスマスにこだわらず、多少講座数は減ったとしても子供たちが今興味を持っているものに絞った新しい事業を検討してみるのもいいのではないかと。	今回頂いたご意見を参考に内容の見直し、新規イベント企画実施を検討する。
7	150118～150121 環境改善センター管理運営事業 一般経費中央公民館 一般経費黒川地区公民館 乙地区交流施設管理運営事業	②提言	事前 提出	4地区公民館について、市のホームページの掲載内容に統一感がない。施設内の各部屋の写真を掲載したり、それぞれの施設で定期的に活動するサークルや団体の紹介があった方が利用者の増加につながると思う。乙地区交流施設のように備品等を掲載してPRするのもいいと思う。	今後、他の様々なHPを参考にするなどし、4施設の構成を統一した魅力あるHPの作成・更新を行う。

No.	施策・事務事業	意見の種類	外部評価委員質問・意見	回答
8	子どもハローワークについて (取組①)	②提言	子どもハローワークについて、市内のロータリークラブなどの団体や、電気工事組合・建設業組合などの組合などに呼び掛けて、胎内市にどういった働くところがあるかを広く考えていくと先につながるのではないかと。子どもたちも知らない仕事が多いので、いろいろな企業を知ることができると興味も湧いて参加者も増えるし、子どもたちが地元に残る選択肢にもなる。 参加者も学校教育課でなく、生涯学習課で取りまとめてもいいのではないかと。と思う。	
9	受益者負担について (150111陶芸研修所管理事業 ほか)	②提言	過去の外部評価の意見で、財政が厳しい中でどこを取捨選択していくかという話があったが、それが事業に反映されている。陶芸教室の参加費が平成29年度まで無料だったものを受益者負担を徴収することになっているが、何でも無料でいいとは思わないし、しっかり市民に説明して理解を得た上で進めたのだと思う。 他市からの参加者も納税している市民と同一料金はどうかという意見も出ていた。他市の参加者の参加費は上乘せした上で参加の機会を増やしていく。他の事業もこのようにして見直していくことが重要ではないかと思う。	陶芸教室については民間等ほかの教室の料金も調べつつ、今後も適正な負担額になるように検討したいと考えている。ほかの事業に関しても、市内と市外の方とで差が必要なものについて検討できればと思う。
10	150114胎内自然天文館運営事業	②提言	自然天文館でいろいろなイベントをしているが、ヨガもやっていたのを初めて知った。天文館は胎内の地域資源の中でもビカイチのものだと思うし、イベントを通じて胎内に天文館があることを知る人もいると思う。ネットを使った情報発信が重要になっているので、ユーチューブやホームページなどを使った発信に力を入れていってもらいたい。今後の方向性に、ネットでの情報発信の強化を入れてもらいたいと思う。	
11	150114胎内自然天文館運営事業	②提言	ヨガに参加したが、幻想的で素晴らしいイベントだったので、来年もやってもらいたい。	
12	150121乙地区交流施設管理運営事業	②提言	利用者が年配の方が多く印象があるが、きれいでいい施設なので、会議やセミナーをやったことがある。ホームページなどで使用例を出すといいのではないかと。と思う。	
13	150117図書館管理事業 ほか	②提言	図書館の利用者は意外と子どもが少ない。特に乙・築地・黒川の図書室は利用者が少ないと思う。せっかくなので、そちらでも読み聞かせなどがあればと思う。	
14	150115昆虫の森運営事業	②提言	今年昆虫の家はすごく人が集まっていた。昆虫の家は、密を避けられる場でもあるのではないかと。目標の人数を上げ、力をいれてもいいのではないかと。	今年は目標を上回る多くの利用があり、人数制限も考えていた。もう少し様子を見ながら検討したい。
15	150115昆虫の森運営事業 ほか	②提言	子どもを連れていくのに、昆虫の家もフィッシングパークもすごく混んでいて人気がある。密にならないように対策をして、子どもたちを喜ばせてほしい。	

No.	施策・事務事業	意見の種類	外部評価委員質問・意見	回答
16	事務事業評価について (150115昆虫の森運営事業 ほか)	②提言	<p>事務事業評価の「達成度の判定理由」の欄にコロナウイルスという言葉が出てくるが、コロナの状況でも前年度より利用者が増えている施設もあるので、コロナで減ったと一概に言えないのではないかと。これまで行ったことがないところに行ってみようかという家庭もあったのではないかと。コロナだからと本質は変えるところはないのか、コロナが収まれば増えるのかといわれればそうではないかもしれないので、あまりコロナの状況に引っぱられない評価をしたほうがいいのではないかと。</p>	<p>昆虫の家などはコロナもあって、遠くに行くよりも近くに、ということで増えたことはある。他方、スポーツ施設のトレーニングルームなどは何か月も閉鎖せざるを得なかった状況で再開後も人数制限しており、そういったところでは人数は確かに減っている。施設によって影響はあったかと思っている。</p>
			<p>元々の企画が時代にそぐわなくなってきたり、新しく他団体との連携などで改善できるものなどは、コロナが理由ではないと思う。例えばコンサートの内容を刷新したり、子どもハローワークの人数が増えていないなどはコロナが理由ではない。コロナが理由で増減したものと、元々あった企画をこれからどうしたらいいか検討すべきものを整理して、今後の改善に向けて取り組んでもらえたらと思う。</p>	
17	150117図書館管理事業	②提言	<p>聖籠町図書館では読み聞かせのイベントや、期間ごとに本に関するイベントもしていたので、図書館の中でできるイベントがあったら行く人も増えたりすると思う。</p>	<p>胎内市図書館でも、ボランティアによる絵本の読み聞かせは月に2回やっている。イベントについてはスペースの都合もあってなかなかできないが、夏休みや読書週間やクリスマスなどにやっている。PRが薄かったと思うので力を入れていきたい。</p>

No.	施策・事務事業	意見の種類	外部評価委員質問・意見	回答
18	行政評価の評価結果について	②提言	<p>事務事業の評価は①（成果を拡充・コスト投入を拡大）が1つであれば全部③（成果を維持・コスト投入を維持）だが、現状維持でいいとなると進歩がない。目標はある程度のところに持たないと進歩がない。達成度が◎の場合は今後の方向性を成果を拡充する①や②にするとか、少しでも上を狙うという方向性をつけたほうが、今後の10年後のまちの姿につながっていくのではないと思う。</p> <p>例えば、イベントを午前中にやって、同一会場で午後にも違うものをやって1日で済むようになれば経費を浮かすことができ、違うところにお金をかけることができる。まとめてやることで、違うことを考えるということも必要かと思う。</p> <p>なぜ市にお金がないかというと、若い人が少なくなってきているというところに行きつくと思う。お金を払う若い年代が増えないと、財政が回らない。そういう現状があるのだから、生涯学習が起爆剤になって人が来たり、若者が増えるきっかけになったりする可能性があると思うので、③の維持の評価で終わるのではなくて②の成果の拡充として目標を持って、新たな人が来るようなイベントを増やすことを仕掛けて実験的にやっていくのもいいのではないかと思う。</p> <p>まとめられるものがあればまとめて、その実績を来年・再来年に反映させていくこともできるので、考えてもらいたいと思う。</p> <p>現状維持は進歩がなく、一番ダメだと思う。方法を変えるとか内容を変えというのは、これまでとの大きな切り替えになると思う。</p>	

令和2年度行政評価 外部評価委員による意見

■施策22 防災・減災

No.	施策・事務事業	意見の種類	外部評価委員質問・意見	回答
1	施策評価シート (施策展開の基本的な考え方)	①シートの記述について	「施策展開の基本的な考え方」のところに、()書きで自助と共助は書いてあるが、公助が書かれていない。「行政は」から始まる文が公助のことだと思うが、そこに(公助)と付けたらいいのでは。	修正したい。
2	施策評価シート (施策の進捗状況)	①シートの記述について	「成果指標による現状分析」の欄に「自分たちのまちは」とあるが、「施策展開の基本的な考え方」での記述に合わせて「自分たちの地域は」でいいのでは。	修正したい。
3	施策評価シート (施策の進捗状況 ほか)	①シートの記述について	「要配慮者」「要援護者」「要支援者」の言葉を同じ意味で使っているのであれば、要支援者に統一してはどうか。	修正したい。
4	施策評価シート (施策の今後の方針)	①シートの記述について	今後の「施策方針に関する説明」の4項目めに初めて「防災・減災に努める」と出てくるが、1項目めに防災・減災の言葉を持ってくる姿勢が必要では。防災・減災の言葉をセットでもっと用いていくことが、施策名に応じた事業実施なのではないか。	消防署との連携は防災・減災の手段という考え方からすると、1項目めと2項目めが防災・減災の基盤になるものと思うので、意見を踏まえ文言を修正する。
5	施策評価シート (施策の今後の方針)	①シートの記述について	「パーテーション」はもっと市民にわかりやすい言葉にするといいと思う。	この内容はコロナ禍において適正に避難所対応や運営をしていくというものであり、パーテーションや衛生品だけの話ではないので、そうした文言に修正する。
6	施策評価シート (取組④)	①シートの記述について	④の「主な課題と今後の対応」欄に「施設の老朽化が進行している」とあるのは、雨水排水ポンプのことか。書いた方が分かりやすい。	修正したい。
7	施策評価シート (取組①⑤)	②提言	同じく⑤に関して、以前土石流のマップがあったと思うが、現在もあるのか。また、鼓岡と大長谷の担い手センターが避難所だという認識だったが、にこ楽・胎内も避難所で、大長谷の防災拠点施設は避難所ではないとも聞いた。もしそうであれば、ガイドブックに明記してもらいたい。	浸水や土砂災害なども含めた新たなハザードマップを掲載したガイドブックを来年2月頃に配布する予定だ。 一次避難所は各集落の集会所、二次避難所には総合避難所として大長谷の防災拠点施設、担い手センター、レクホールが指定避難所になっており、各集落の避難計画に基づいて避難する。これとは別に自主避難所というのは、震度4以上の地震や津波注意報が出た場合に心配があったら避難できるように各地区に設けるもので、鼓岡地区・大長谷地区では大長谷防災拠点施設とにこ楽・胎内に開設される。 一次避難所、総合避難所、自主避難所と避難所の種類の区別が難しいと住民の皆さんが感じているところがあるので、その区別を新しいガイドブックに示す。
8	施策評価シート (取組①) 460211非常備消防一般	②提言	自衛消防設備に対する市の補助が補助率1/2で上限10万では、15万円くらいのホースでは7万しか補助が出ない。大きな集落なら出せても、小さな集落だと出すのも難しい。最初から上限10万にすればいいのではないか。	補助率を上げるなどの工夫も考えさせてもらいたい。

No.	施策・事務事業	意見の種類	外部評価委員質問・意見	回答
9	施策評価シート (取組⑤)	②提言	⑤の「これまでの主な取組と実績」に、H30に「ガイドブックに避難所生活についての情報を追加した」とあるが、ガイドブックやハザードマップは作ったあとの周知も大事だ。わかりやすく説明して周知することを今後の方針のところに表記して、ぜひ作って配って終わりではない取組をしてもらいたい。	ガイドブックの内容を集落に説明に行くこともあるし、防災士に説明してもらう取組もあるので、今後もそのようにして周知をしていく。
10	施策評価シート (取組⑤)	②提言	防災無線でのクマの出没情報は地域を絞って流しているのか。地域によって流れないという声を聞いたが、全市に流したほうが良いと思う。	今年のクマの出没情報を当初地区を絞って流していたが、その地区へ向かう方もいるので、10月頃からは全市に流している。
11	施策評価シート (取組④)	②提言	中条川が二股に分かれるところで土砂が溜まっている。土砂の取り除きはどかがやるのか。 食器のかけらが落ちているなど、そこまで手が回っていない。地域でやったほうがいいのかとも思うが、それも負担である。夏には川に入る子供もいるし、景観上も、定期的な清掃活動など何とかできないものかと思う。	管理は県。新発田地域振興局の治水課が確認して、定期的に泥を上げたりしている。